

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第25号

大激戦の区議選、日本共産党は7人全員当選

開発優先の税金の使い方改めさせ 暮らし・命・未来守る区政を



選挙事務所開きには田舎の仙台から両親がかけつけて
激励してくれました。さらに期間中にも母親が3日間、
私の六畳一間のアパートの部屋で寝泊りし、練り歩き
の隊列にも加わるなど、応援してくれました。本当に、
たくさんの方々に支えられた選挙戦となりました。



漫画：安藤たい作

最終日は
演説
1日
やりぬきました!!

そんな選挙でした。

私の担当地域は東・西五反田、上大崎、北品川、
西品川、大崎、豊町一の29丁目。そこに15人の候
補者が乱立する大激戦でした。政策抜きに名前を

訴えに訴えぬいた公約の重み受け止め

向けて、全力をあげていきます。

- 高年齢者の医療費無料化制度の復活
(70歳→住民税非課税の方から始め徐々に拡大)
 - 特養ホーム・保育園・区営住宅の増設
 - 不安定雇用にも均等待遇でワーキングプア解消
 - 学校を次々廃校に迫らむ学校選択制の見直し
- 今後は皆さんの運動と力合わせてこの公約実現に

以下、全力をあげて選挙をたたかいました。

今回の区議選は政務調査費問題など、税金の使
い方が大きく問われました。私は皆さんが必死の
思いで納めている税金を大型開発でなく、皆が求
めている福祉のために使うべきだと主張し、主に

他の先輩議員とともに暮らしと命を守る区政実現
のために全力を挙げていきたいと思えます。

「今こそ福祉」の公約実現に向け全力

4月22日投票の品川区議会議員選挙。私安藤た
い作は皆様から2196もの票を頂き、29番目で
当選しました。沢田英次さんが守り続けてきた32
年間の議席と、実質4年間空白となっていた西品
川・大崎地域での共産党の議席も継続して守るこ
とができ、ホッとしています。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。